

# インド地震の被災者救おう

九月三十日に発生したインド南部地震の被災者を救済するため、国際医療組織「アジア医師連絡協議会」(AMDA、本部・岡山市、菅波茂代表)は、アジア五カ国の医師十人で医療チームを結成し、六日から現地で一カ月間の救援活動に乗り出した。

アジア医師連絡協

## 5カ国10人 活動始める

参加するのは、医療法人アスカ会の三宅和久医師(三二)岡山市と札幌市民病院の早川達也医師(三六)札幌市IIの日本人二人や、インド、ネパール、バングラデシュ、フィリピンの五カ国の医師。地震発生直後にAMDAインド支部から救援要請があり、ソマリア

難民救援活動について二度目の多国籍医師団の出勤となった。

現地の被災状況が激しいため、AMDA本部は非政府組織「ケア ジャパン」(本部・東京都)などと情報交換を進めて、医師団の活動を後方支援する。